

子どもの安全

AED設置の協議・管理は

学校施設に15台増設計画



はまむら みか 議員
濱村 美香

た救命講習実施を各課で進める、各課で所有するAEDについて分かりやすい表示、すぐに取り出せる場所に置き換える等を協議した。

また、教育委員会では、今年度当初予算に15台の増設を計上している。

問 現在設置しているAEDの維持管理は。

答 徳廣情報防災課長 情報防災課では、24台設置しており、規定のサイクルに応じて維持管理（バッテリーやパット等の交換）を行っている。

答 藤本教育次長 各学校のAEDについては、情報防災課と情報共有の上、教育委員会が一括管理している。

問 昨年の黒潮町民会議では、救命措置が行われず、子どもを亡くした方の講演があり、緊急時の対応やAED使用の重要性を訴えられていた。

その後、教育委員会は、情報防災課や住民課、関連事業所や消防署等と協議を行ったか。

答 藤本教育次長

関係事業所との協議は行っていないが、町民会議直後の執行機関会議において、AEDを使用し



AEDの設置の様子(南郷小学校職員室)

通学路の安全

協議会に出た課題の改善は関係者と協議し対応



危険な通学路を自主的に除草してくれている保護者(町道土橋線)

問 教育基本計画の中の事業の一つに、「通学路安全対策連絡協議会」の開催があるが、その役割や対応は。

また、令和元年度に上がってきた47件の課題は、何件改善できたか。

答 藤本教育次長

各学校は保護者や地域住民と共に、夏休み中に通学路の点検をした結果報告書を教育委員会に提出している。

協議会は、毎年10月に、中村河川道路事務所、幡多土木事務所、高知県警、町内小中学校校長、まちづくり課、建設課、情報防災課等の担当者により開催され、報告書をもとに協議、時には現場確認も実施している。

各機関は報告書を持ち帰り、協議の結果を1月末までに教育委員会へ回答している。

対応の具体例は、町道の改良や落石防護柵の設置、県道国道は、横断歩道の明確化や信号機のサイクル変更、防犯については、子ども見守りカメラの設置や見守りパトロールの強化などがある。

また、改善件数は交通安全関係29件中4件、防犯関係18件中7件の計11件となっている。